

# まちの話題



4月から走っている小型バス。床が低く、誰でも乗りやすい設計になっています。



3km コースのスタート直後。

## かきカキマラソン開催 好天に恵まれ大盛況

3月2日(日)、沖美町高祖埋立地で江田島市かきカキマラソンが行われました。当日は約1500人のランナーが海岸沿いのコース(3km、5km、10km)を疾走。完走者には参加賞が配られ、焼きガキの食べ放題や抽選会などを楽しみました。



①



②



③



④



⑤

①選手宣誓をする山口 直輝さんと山本 麻椰さん。②ゴール直後に、ボランティアの人たちがスイートピーを渡しました。③ゴールした後は、焼きガキに舌鼓。④2月23日(土)に、三高中の生徒が会場周辺を清掃しました。⑤東京から1人でやってきたという羽鳥 敦子さん。「ここのカキは最高です!」と話していました。

## 路線バス事業以外の 部分で収益を

代表取締役就任して3ヶ月が経ちました。バス事業は大きく分けて、路線バス事業と貸切バス事業の2つがあります。今は、会社全体の財務体質の改善を図るために、過去の経営状況などを細かく分析しているところです。

このため、無駄をなくしながら事業を効率的に運営していくこと、路線バス以外の部分で収益を増やすことが重要だと考えています。具体的には、乗務員の効率的な配置や、バス車両を利用した広告収入の増加などです。

導入しました。  
お客さまの声や  
自分の経験を生かして  
市民からは、要望やおしかりを受けることがあります。これは非常にありがたいことです。なぜなら、そこには、これから江田島バスが成長していくためのヒントがたくさん詰まっているからです。お客さまの声を大切に、会社経営に生かしていきたいですね。

まずは、路線バス運行のために全力を注ぎます。そして、お寄せいただいたご意見や、自分がこれまで経験し身につけてきた民間企業のノウハウを生かし、社員とともにアイデアを出していきたい。例えば、観光資源や諸行事などと連携したバスの運行などを実現させていきたいですね。



蓮田 勉 (はすだ・つとむ)  
昭和22年11月生まれ。広島県立広島工業高校を卒業後、中国化薬株式会社に入社。平成13年に同社の取締役、平成19年に顧問に就任。その一方で、平成20年1月に能美バス株式会社の代表取締役に就任。4月から、引き続き江田島バス株式会社の代表取締役。

※ラッピングバス  
あらかじめ広告を印刷したフィルム(ラッピングフィルム)を車体全体に貼り付けているバスのこと

## この人に聞く

蓮田勉・江田島バス株式会社代表取締役

4月1日から、呉市交通局と能美バスが運行していた市内のバス路線を、能美バスから名称を変更した「江田島バス」が引き継ぎました。  
そこで、江田島バスの代表取締役である蓮田勉さんに、一元化後のバス事業について、ご自身の意気込みや今後の事業展開などを聞きました。